



# いいかも

(可 茂)

可茂県事務所 振興防災課

電話:0574-25-3111  
(内線 208)

## 家庭教育学級リーダー研修会

### 幼保の部はオンデマンド配信!

#### 研修テーマ(小中・幼保 共通)

「学びのある家庭教育学級の充実をめざして」  
・今年度は市町村家庭教育担当の方と連携しながら、コロナ禍の状況も踏まえて、『在宅取組型の充実』に焦点化しました。

日時:令和3年5月21日(木)~31日(月)  
会場:可茂総合庁舎より各市町村教委等  
参加者 75名  
(保護者 47名 園指導者等 28名)

今年度のリーダー研修会では、岐阜県家庭教育支援条例の周知と「話そう! 語ろう!我が家の約束」運動の推進普及を中心に在宅取組をキーワードに研修していただきました。アンケートをもとに、研修会を振り返ります。

#### ※アンケート集計結果

①研修内容	満足・おおむね満足	98%
②実践紹介	満足・おおむね満足	100%
③配付資料	満足・おおむね満足	93%

※今年度は録画配信の形式のため、例年通りの開催時期、開催時間、全体研修、分散会の分け方、分散会内容についての設問はありませんでした。

#### 研修内容について

- ・家庭での取組を進めたいという趣旨がよく分かりました。年齢が小さいほど家庭での親との会話やふれあいが大事であることを伝えていきたい。また、家庭での子育てに困った時や心配な時は電話相談の窓口についての周知もあるとよいと思う。<親>  
⇒なるほど!困った時の窓口は大事ですね。身近な市町村の相談しやすい窓口とともに、県の家庭教育プログラム(乳幼児期編)の100ページもぜひ参考にしてください。

#### 実践紹介について <光の子保育園>

- ・子どもへの愛情を表現するために、抱きしめてあげたりすることも大切だと分かっているけど、なかなかそのような機会が作れないので、この取組をすることによって、親子のスキンシップも図れて、とても素敵で魅力的だと感じました。<親>
- ・今までは、やったらシールやスタンプというイメージでしたがハグのご褒美というのには感動しました。<親>
- ・子どもが小さい時から家族の一員であることを実感し、成長していくことが大切だと思った。一緒にお手伝いを決めて、できたことでハグしていくことが自己肯定感を高めていくことにつながるのだから良い取組だと思います。<親>
- ・光の子保育園の体験談などがみれてよかったです。もう一つくらい違った実践があってもよかったですかなと思います。<親>  
⇒次号からの通信に反映させていただきます。

#### 録画配信による研修形式について

- ・オンライン開催とてもよかったです。参加しやすく、配信期間もちょうどよく、いつでも見られ、参考になりました。こういう形で全学級生さん達への配信があると、より多くの人への子育てのアドバイスができると思いました。<園長>
- ・録画配信は感染対策になり、ほっとしました。研修場所への移動などにも負担も少ないです。また、家事をしながら聞けることができたり、今の話は何かだっけ?の時にもう一度振り返ったりすることができました。<親>

# 小中の部はオンライン開催!

日時：令和3年5月27日(木) 14:00~  
会場：可茂総合庁舎 5階大会議室から  
参加者 121名  
(保護者54名 指導者等 67名)

今年度はコロナ禍により、オンライン開催としたことで、管内のすべての小中学校から参加いただき、ほとんどの家庭教育学級長さんと教頭先生に出席いただくことができました。ブレイクアウトセッションでは数校のグループで互いの学級の様子を交流することができました。

## ※アンケートの集計結果より

①研修内容 満足・おおむね満足 99%  
②実践発表 満足・おおむね満足 100%

開催時期、開催時間、全体研修、分散会の分け方、分散会の内容、配付資料の設問項目は省きましたが、研修会の内容については、ほぼ100%の満足度でした。

## 研修内容についてのご意見

- ・親として子育てに日々悩むが、一人で抱え込まず、他の親と話しをすることで不安を取り除くことができたり、みんなと同じだなと安心できたりできる。そんな場として家庭教育学級が行われることが大切だと実感しました。〈親〉
- ・多くの保護者の方に参加してもらったための多様な型や家庭教育学級に求められていること、在宅取組型実施の手順が具体的に示されていて、PTAの代表の方と共通理解が図れてよかった。〈教頭〉
- ・昨年度から集まっての家庭教育学級が難しくなり、今年度も計画は立てたけれど、できない行事が出てきています。今回、「在宅型の研修」に的を絞っていただいたことで、今年度どんなことができそうか考えながら研修を受けることができました。〈教頭〉

## ブレイクアウトセッションについて

- ・活動の記録を残すため、タブレットを貸し出す計画をしている学校があることに驚きました。研修にICTも活用できるとよいと思いました。〈教頭〉
- ・家族で家にいる時間が多かった今だからこそできることを考えていこうと思いました。〈親〉

## 開催時期・開催時間について

- ・研修内容はとても参考になり、多くを学ぶことができました。時期が年間予定を作ってしまった後だったので、作る前の研修だとよかったかなとも思います。〈親〉  
⇒オンライン配信への変更や家庭教育学級長さんの役員決定がPTA総会以後の学校もあって、開催時期は毎年5月末になります。年間計画を柔軟にとらえ、研修内容を次年度計画の参考にするなど、在宅取組型の深めてくださるとありがたいです。
- ・オンラインの研修としては、1時間の設定であったが、講義あり、実践発表あり、交流ありと内容的には充実していたと思う。役員さんが仕事を抜けて学校に来てくださっていることを考えると、14:00~15:30の時間設定でもよかったです。
- ・オンラインが終わっても教頭先生と家庭学習の話ができたのでよかったです。〈親〉  
⇒研修の時間内だけでなく、こうした研修を契機にして、家庭と学校の連携が深まるといいですね。



当日は密を避け、広い大会議室で3つのコーナーから、3つの会議が同時進行で行われていました。マイクが隣の音声も拾ってしまわないか心配されました。音量が小さかったという指摘もいただきましたが、入室不能のトラブルもなく、場面切り替えの不手際程度で終わることができました。

## アンケートの回収率 100%超！ 感謝申し上げます。

幼保リーダー研修会は「オンデマンド配信」により、家庭などでの受信可。小中のリーダー研修会は「オンライン開催」で学校などでの受信。というWebを使った研修会となって、アンケートの回収方法についても心配されました。

幼保では各教育委員会の家庭教育担当者に紙媒体などで集めていただき、小中では各学校からメールなどで送信していただきました。その結果、幼保では事前の申し込み名簿上では、67名の予定でしたが、アンケートはなんと75通も、100%以上の回答をいただくことができました。配信内容を、より多くの学級生さんに広めていただいたおかげであるととらえています。

そして、小中でも、管内すべての41の小学校、20の中学校からの回答をいただき、こちらも回収率100%でした。

今後も在宅取組などを通して、家庭教育に関する情報が確実に各家庭に届いていくことを願っています。皆様のアンケートへのご協力に感謝するとともに、文面からは家庭教育への熱い思いを感じ取ることができました。

また、市町村の担当者の方々には、急な変更に対しても、臨機応変に快く対応していただきまして、ありがとうございました。

## 【実践発表校へ寄せられた感想からピックアップ】

### 【御嵩町立御嵩小学校】 一家庭一実践 「家族で取り組んだ世界に一つの宝物」

- ・御嵩小としてはもちろん、御嵩町としても町ぐるみで熱心に取り組んでみえたことがよく伝わってきました。
- ・御嵩町で統一された一家庭一実践の取組の定着を感じました。17年間継続する中で、幼・保・小・中が連携して行っていて、とても効果的な方法だと思いました。
- ・実践テーマを絞って提示するのではなく、それぞれの家庭に応じた内容に取り組み、参観日の掲示で、全家庭の取組を紹介していくスタイルが参考になりました。
- ・取組をやりっぱなしで終わらせるのではなく、その内容に合わせて「〇〇賞」と価値づけている点が素晴らしい！また、全校分掲示することで互いに学び合うことができていると思いました。

### 【可児市立蘇南中学校】 令和元年度の家庭教育学級 「高校見学・こんにやく作り」

- ・学級生の皆さんが「自分たちでやりたいことを自分たちで運営している。」という主体的な姿勢が素晴らしいと思いました。各講座がカルチャー的活動で終わらず、こんにやくを夕食の食卓に持ち帰り会話が弾むなど、お子さんやご家族との関わりとつながっていることが分かりました。
- ・こんにやく作りという地域の人材を活用して、ただ作るだけでなく、食べるようになった歴史なども伝えられているところに好印象を持ちました。うちの学校にもS講師さんに来てほしい。
- ・新聞でも拝見しましたが、PTAの方が主体的に動いてみえる姿に感動しました。コロナ禍での校舎の消毒作業は素晴らしいと思います。